

【 **入院診療計画書** : **下肢動脈形成術(鼠径部穿刺)** 】 ID

【 病名 閉塞性動脈硬化症 】 【 手術/検査内容 下肢動脈形成術(鼠径部穿刺) 】 氏名 様

【 主治医 】 【 担当医 田中 慎司 村井 貴裕 】

【 特別な栄養管理の必要性 ●有・(無) ※当院では、栄養士より全ての入院患者様の栄養評価を行い必要に応じて栄養指導させて頂いております。

【 栄養計画 食止めの場合→絶飲食の為の輸液管理を行い適切な栄養管理に努 食ありの場合→院内約束食事箋に基づき適切な栄養管理に努めます。

【 総合的機能評価 なし あり 注:病名/入院期間等は、現時点で考えられるもので検査や治療、病態により変更となる場合があります。

経過	入院日(治療前)	入院日(治療後)	2日目(治療翌日)	3日目(退院日)
日時				
目標	治療について不明点を聞くことができる。	・足の痛みがNRS・フェイスケール3以下で過ごすことができる。 ・足のしびれ・腫れ・出血がない。		
食事	治療2時間前より絶食になります。 飲水は(カフェイン以外)直前まで可能です。	治療1時間後より食事が可能。飲水は帰室直後より可能。安静が必要となるため食事は介助します。	食事可能	食事可能
検査				
治療処置	治療前に点滴を始めます。 両足の付け根の除毛をします。 必要時、尿カテーテルを挿入します。 入れ歯、指輪、ヘアピンなど金属類は外します。 ※眼鏡や補聴器は装着したまま治療室へ入室しても大丈夫です。	心電図モニターを1日装着します。 足の固定テープは、看護師が外します。 出血する可能性があるため、テープは外さないで下さい。	説明した安静時間が過ぎたら、声をかけます。 その際に足の付け根のテープを外します。	
安静度	制限はありません。 治療1時間前には病室内でお待ち下さい。 治療室へは、徒歩で移動します。	ベッドで病室へ戻ります。 絶対安静です。 起き上がり、寝返り、足を動かすことはできません。 安静に必要な時間は看護師から説明します。 排泄もベッド上になります。 (必要時尿カテーテルを挿入します。)	安静時間が過ぎ、穿刺部の状態に問題がなければ歩行可能です。 看護師がお伝えします。	制限はありません。
説明指導	造影剤や薬、消毒アレルギーがある場合は事前にお伝え下さい。	治療結果の説明は、治療室で行います。 疼痛のある場合は鎮痛剤をお渡しします。	薬や食事について説明があります。	退院は午前中(10時以降)となります。 退院後の注意点は別紙を参照してください。 (退院時にお渡しします。)

上記、入院診療計画について十分な説明を受けましたので同意いたします。		同意年月日		〈西暦〉 年 月 日	
本人/親族 または代理人(続柄)		主治医	印	説明看護師	